

下川町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

下川町は、北海道の北部にあり、北見山地と天塩山地の間に位置し、その面積は644.20km²を有し、地域の東部からほぼ中央部を名寄川が西に貫流しており、気候は大陸の様相を呈し、夏期は比較的高温であるが、冬期間は著しく温度が低下し、その差は60度に及ぶこともある地域であり、町の面積の90%が森林地帯です。当町は、人口の減少や車社会の到来により、公共交通の利用者が減少傾向にあり、運営は年々厳しさが増している状況にあります。その一方で高齢化率は4割弱と高く、交通弱者や交通空白地帯に住居する住民のための移動手段の確保をする必要性があります。

当町は、主要幹線である国道239号線が東西に長く走り、この幹線沿いに集落が多く張り付いていることから、集落間の距離を縮めるため地域住民の足としての町営バスの再編と乗合タクシーの導入を行っており、地域間幹線系統下川線・興部線に接続するフィーダー系統として、生活交通手段の確保を図っているところであります。

利用者の確保と住民ニーズに対応した輸送形態を維持していくため、アンケート調査を実施して利用区域からの要望に近い公共交通を目指していくことで、生活の利便性向上の一端を担うことが可能となります。

地域公共交通の現況

- ・名士バス 2路線
(JR名寄本線廃止に伴う代替バス及び既存バス)
- ・コミュニティバス
(班溪線) まちなか(南町、西町、緑町、旭町、錦町、幸町、共栄町)

生活交通確保維持改善計画の目標

[地域公共交通の満足度]

7系統、目標値 班溪線以外 99.2% 班溪線 100%

[利用人数]

| | | | | | |
|------|-----|----------|-------|--------|----------|
| ・班溪 | 目標値 | 1,530人/年 | ・溪和 | 目標値 | 345人/年 |
| ・北町 | 目標値 | 287人/年 | ・まちなか | 目標値 | 9,377人/年 |
| ・上名寄 | 目標値 | 1,003人/年 | | | |
| ・一の橋 | 二の橋 | 三の橋 | 目標値 | 846人/年 | |
| ・班溪線 | 目標値 | 4,944人/年 | | | |

協議会開催状況

平成30年6月4日 第1回地域公共交通会議の開催

- ・生活サポート地域公共交通再編後の利用状況及びアンケート調査結果の報告

- ・生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統)の承認

平成30年12月14日 第2回地域公共交通会議(書面)の開催

- ・「地域公共交通確保維持改善計画・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)」の内容について

令和元年5月27日 第1回地域公共交通会議の開催

- ・生活サポート地域公共交通再編後の利用状況及びアンケート調査結果の報告

- ・生活交通ネットワーク計画(地域内フィーダー系統)の承認

令和元年度事業概要

町営バス再編に伴う予約型乗合タクシー導入

①班溪 ②溪和 ③北町 ④まちなか(南町・西町・緑町・旭町・錦町・幸町・共栄町)

⑤上名寄 ⑥一の橋・二の橋・三の橋

(平日・土曜日～5便、日曜日・祝日～3便/料金:⑥の内一の橋500円、⑤及び⑥の内二の橋400円、①②及び⑥の内三の橋300円、③④200円)※小学生半額、未就学児は無料

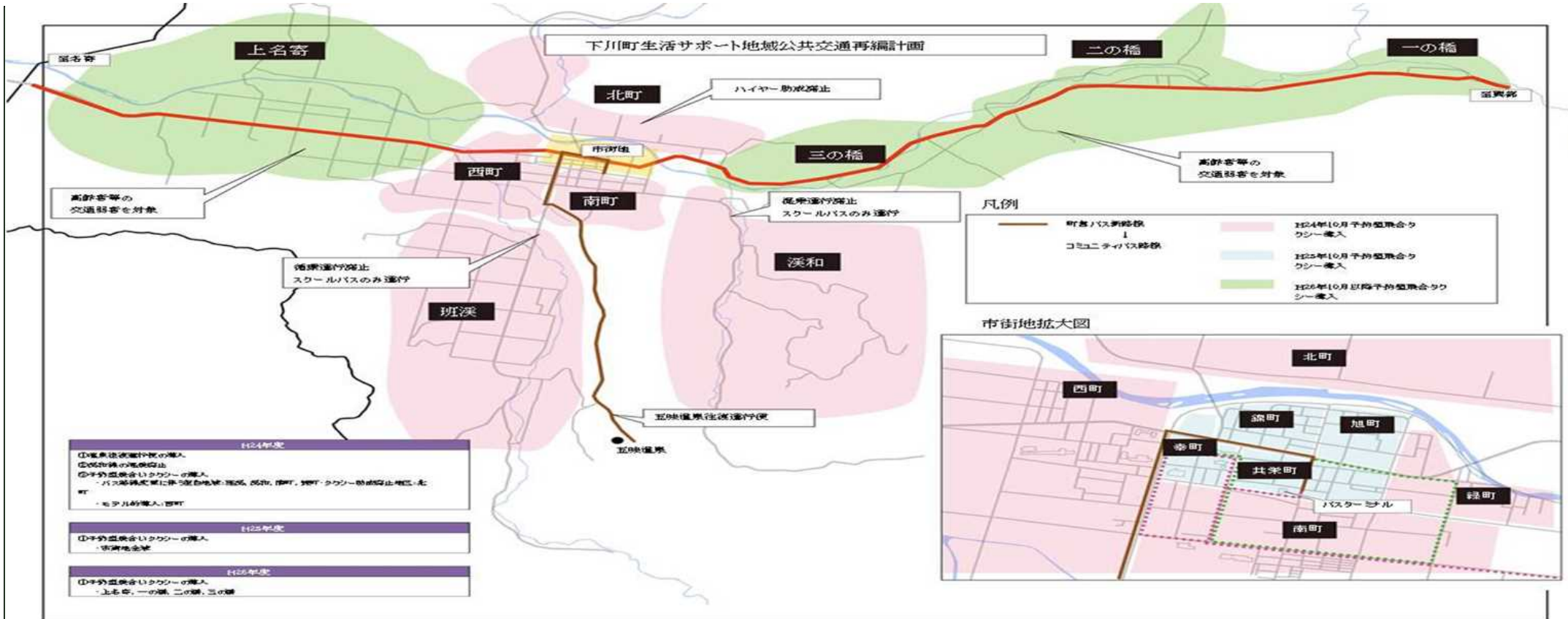
⑦班溪線(平日・土曜日～5便、日曜日～4便/料金:まちなか乗車200円、自由乗降区間100円)※小学生半額、未就学児は無料

令和元年度事業の実施状況

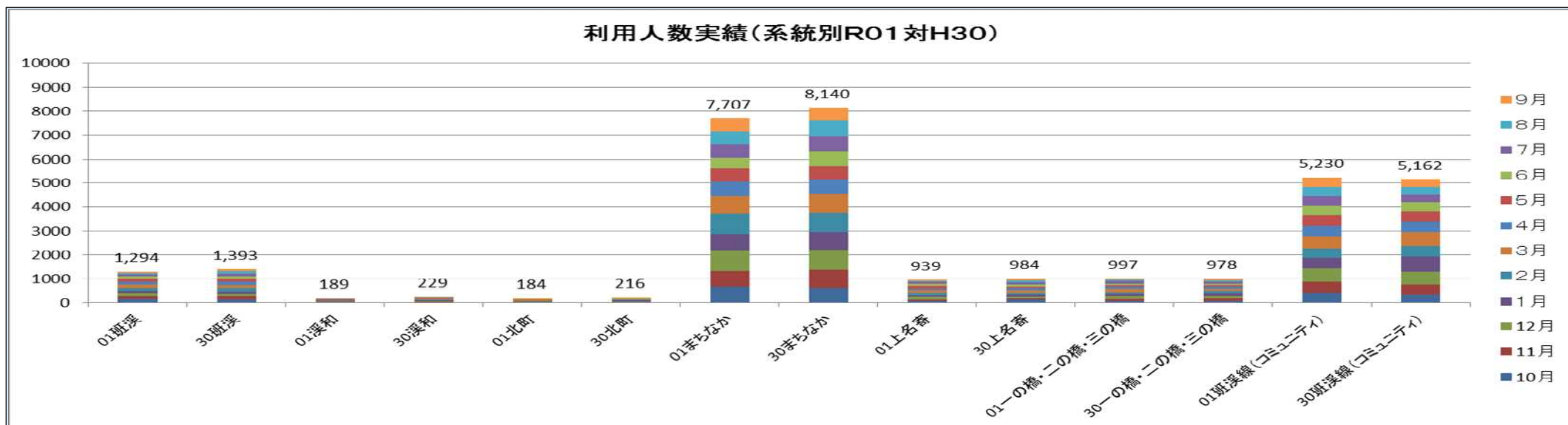
1) プロセス、創意工夫

予約型乗合タクシーの導入については、地域住民になじみのないシステムのため、住民説明会を実施し、平成26年10月には一部運行区間を追加し全区間運行を実施している。
 令和元年度は、乗車率の向上や利用者の確保を図るため町広報誌で予約型乗合タクシーの利用方法の周知を行っており、また、地域懇談会やサロンなどでの利用啓発や、併せてアンケート調査を実施したため、その結果を踏まえ次年度以降の改善の検討を進める。

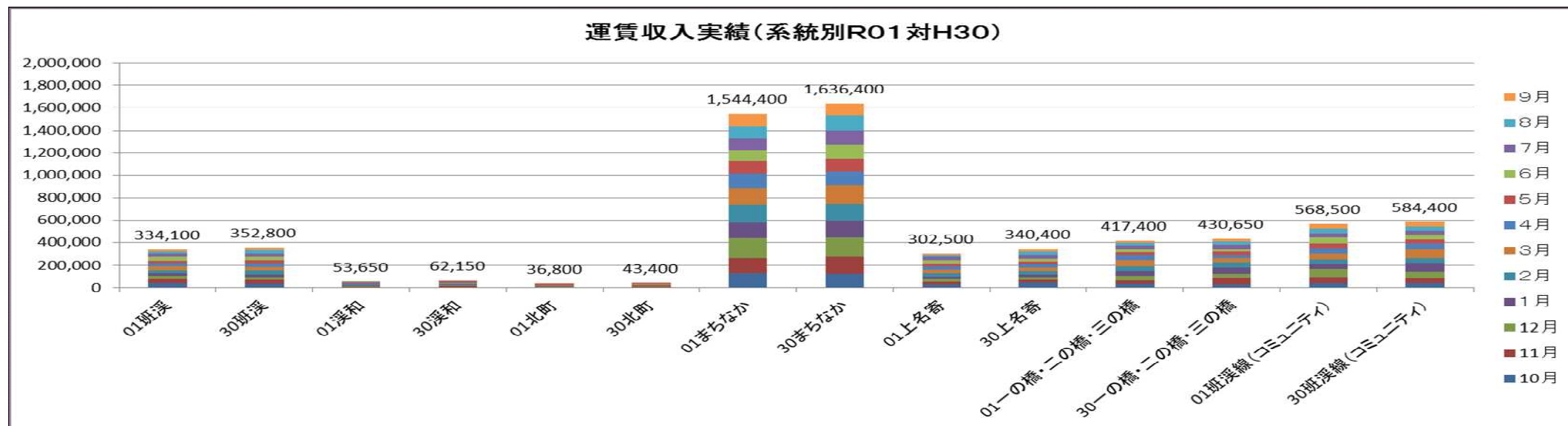
2) 運行系統



3) 利用実績



4) 収入実績



5) 事業実施の適切性

計画に位置づけられたとおりに実施した。

6) 目標・効果達成状況

[地域公共交通の満足度]

①～⑥系統は99.2%、⑦系統は100%の目標値のところ、①～⑥系統92.9%、⑦系統100%の実績であった。

[利用人数]

- ①班溪 目標値1,530人/年に対し、実績1,294人/年(84.5%)
- ②溪和 目標値345人/年に対し、実績189人/年(54.7%)
- ③北町 目標値287人/年に対し、実績184人/年(64.1%)
- ④まちなか 目標値9,377人/年に対し、実績7,707人/年(82.1%)
- ⑤上名寄 目標値1,003人/年に対し、実績939人/年(93.6%)
- ⑥一の橋・二の橋・三の橋
目標値846人/年に対し、実績997人/年(117.8%)
- ⑦班溪線 目標値4,944人/年に対し、実績5,230人/年(105.7%)

[効果]

交通弱者や交通空白地帯を解消するとともに、高齢者等の移動負担を軽減し、日常生活に必要不可欠な生活の足を確保することができ、一定程度の成果は達成できたものと考えている。また、本路線を利用するの買い物や集会等への参加による仲間同士の交流は、引きこもりの防止にも効果があるものと考えている。

7) 事業の今後の改善点

アンケート調査による地域公共交通の満足度は概ね高く、地域の公共交通としての役割は一定程度果たしているものと思う。

しかし、利用人数の目標を掲げているが、目標に対する実績の利用人数は低下しており、これらは、日常的に利用されていた方の市街地への転居や町外転出、施設入所による影響が大きかった。

今後は、系統の変更を進めていく中でより効率的な運行を目指していく。

8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和2年度分と併せて評価)